

小学校で新たに登校支援室を試行 ～不登校児童を支援するため小学校3校に登校支援室を設置します～

1 目的

小学生の不登校が増加傾向にある中、不登校や不登校傾向の児童を支援するため、校内フリースクールとして全中学校に設置している登校支援室を、新たに小学校3校で試行的に実施します。

2 概要

登校支援室は、校内フリースクールとして全中学校に設置しており、登校できなかった生徒が、登校支援室に通うことができるようになったり、登校支援室に通う生徒が、教室に戻ることができるようになったりしています。

登校支援室は、学校の空き教室を利用して設置します。支援員が常駐するとともにフロアカーペットやカーテン、パーティション、ソファ、テーブルなどを整備し、教室とは違う居心地のいい空間で、こどもに寄り添った支援を行います。



モデル校：小野小学校、藤山台小学校、大手小学校

3 スケジュール

令和7年4月から支援室の整備に着手し、支援員の体制等が整い次第順次

4 予算額（予定）

4,600千円（内訳）支援員の人件費、フロアカーペット等購入代など

5 その他

(1) 中学校における登校支援室の整備状況

年 度	設置校
令和2年度	(3校) 東部中学校、藤山台中学校、石尾台中学校
令和3年度	(6校) 知多中学校、松原中学校、南城中学校を追加
令和4年度	(15校) 全中学校

(2) 不登校の推移

(人)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学生	154	176	248	350	418
中学生	359	379	442	480	610